



平成 31 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社タウンニュース社
代表者名 代表取締役 宇山 知成
会長兼社長
(コード番号 2481)
問合せ先 取締役執行役員 長島 淳一
経営管理部部長
(TEL 045-913-4111)

平成 31 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 8 月 10 日に公表いたしました平成 31 年 6 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 6 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想と実績値の差異 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,581	172	183	119	21.60
実績値 (B)	1,437	45	71	48	8.84
増減額 (B-A)	△144	△127	△111	△70	
増減率 (%)	△9.1	△73.6	△61.0	△59.1	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 6 月期第 2 四半期)	1,499	136	168	95	17.21

2. 差異が生じた理由

売上高におきましては、地域事業者との対面機会を増やすベーシックな動きを推進強化するとともに、編集室の枠を越えた合同企画や全社横断的な特集を組むなど企画提案型の営業活動を進め一定の成果は出せたものの、新たな柱としているプロモーション事業等の成果が当初見込みより進捗が遅れてしまったことなどから、前年同期実績を下回る結果となり、当初予想も下回りました。

利益につきましては、売上高が減少するなか、制作部門の効率化などにより売上原価の削減はできたものの、新卒の採用増やプロモーション事業への増員など将来を見据えた中長期的・戦略的な人員増強などを行った結果、人件費等の増加につながり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前年同期実績を下回り、当初予想も下回る結果となりました。

なお、現段階において通期の業績予想に変更はありません。

以 上